

岡崎和郎展

補遺の庭

OKAZAKI KAZUO

G a r d e n o f S u p p l e m e n t s

型抜きや反転といった手法で生み出される、鋭いユーモアをたたえた精巧なオブジェ。独自のコンセプト

「御物補遺」に基づく岡崎和郎の作品世界が、鎌倉館の空間に補遺（サプリメント）の庭として展開します。

OKAZAKI Kazuo (b.1930) produces finely honed works with sharp-witted humor from everyday objects and casual scenes. It is 13 years since a one-man exhibition of Okazaki's works was last held in a public museum and this will be a long-awaited opportunity to find out about his works, which maintain a proud independence.



神奈川県立近代美術館 鎌倉

2010年9月11日(土)-11月3日(木・祝)

休館日：月曜日（9月20日、10月11日は開館）
9月21日(火)、9月24日(金)、10月12日(火)

開館時間：
午前9時30分-午後5時
（入館は午後4時30分まで）

観覧料：
一般 800円(700円)、20歳未満と学生 650円
(550円)、65歳以上 400円、高校生 100円
※（ ）内は20名以上の団体料金です。
※中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料です。
※ファミリー・コミュニケーションの日：毎月第1日曜日（今回は10月3日）は、18歳未満または高校生以下のお子様連れのご家族（65歳以上の方を除く）は優待料金でご覧いただけます。

主催：神奈川県立近代美術館

お問合せ先：
神奈川県立近代美術館 鎌倉
tel.0467-22-5000 fax.0467-23-2464
〒248-0005 鎌倉市雪ノ下 2-1-53
広報担当：山内舞子・松尾 子水樹
展覧会担当：水沢勉・三本松 倫代・朝木由香

プレスリリース、及び展覧会情報は美術館
ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

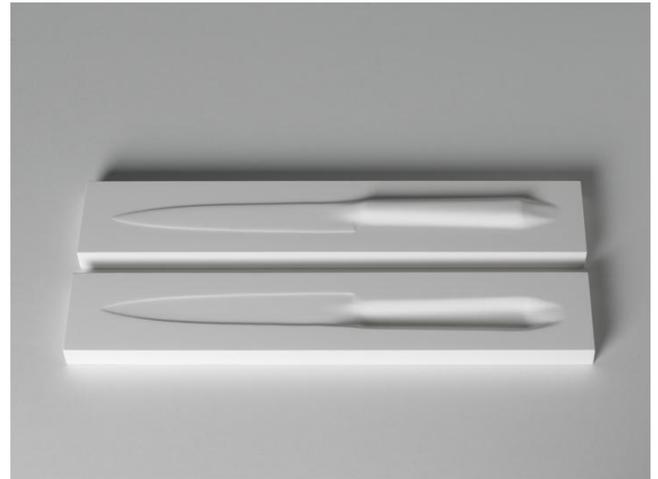
《球体(月)》2010と《ハウス》1982-2006
2010年6月 神奈川県立近代美術館 鎌倉
撮影：山本紉

岡崎和郎（1930-）は、1960年代に独自の造形概念「御物補遺」（ぎょぶつほい）を確立し、今日まで、オブジェを中心に、鋭敏なユーモアを湛えた精巧な作品の制作を続けています。

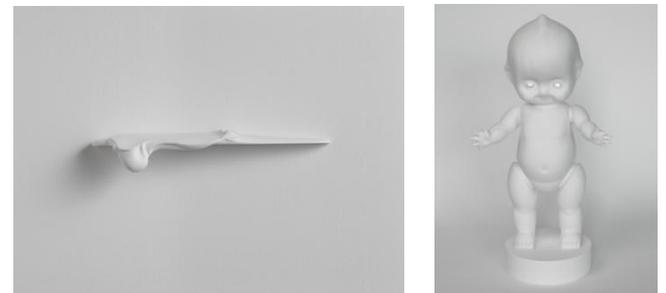
美術の世界に欠落した要素を補うものとしての作品という「御物補遺」のコンセプトに基づいて、日常の事物を型抜きや反転といった手法で鮮やかに造形化した岡崎の作品は、「補遺」の英訳[Supplement]のとおり、見る者の知覚を活性化し、通常美術観を一新させる「栄養補助品（サプリメント）」として作用します。その造形性と一貫した創作姿勢に加え、自らの戦争体験に根差した日本や人間存在についての深い洞察が込められた一連の作品は、日本の戦後美術のなかで近年その重要性をますます高めています。

庇をモチーフに部分と全体の境界を省察する「HISASHI」のシリーズによって、補遺の概念はその空間性をより強めてきました。公立美術館での個展としては13年振りとなる本展では、坂倉準三のモダニズム建築として知られる鎌倉館に、新作を含む約45点が配されることで、建築と周囲の環境、そして作品の世界が補完しあい、いわば美術館全体が「補遺の庭」となることでしょう。

「休息・再生・記憶」をテーマに、補遺の庭に展開される岡崎和郎の仕事と、その造形思考を紹介します。



《包丁》1966/1986 撮影：山本糾



右《キューピー人形》2005 撮影：山本糾

左《HISASHI》1991/1996 撮影：山本糾

関連企画

岡崎和郎氏によるアーティストトーク

2010年10月10日（日） 午後2時より

担当学芸員によるギャラリートーク

2010年9月20日（月・祝）、10月2日（土）

いずれも午後2時より

申込不要、参加無料

（ただし「岡崎和郎展」の観覧券が必要です）



《P.M. ボール》（『三種の心器』2004より）撮影：山本糾



《枝をたてる》2008 撮影：山本糾